

整理番号	23-1	事務事業名	エキノコックス症予防対策事業	作成部署	保健福祉部健康管理課	電話	内線807
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 上村弘志	課長職名	細川和夫	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	563	根拠法令等	北海道エキノコックス症実施要領				
〃 終了予定年度			北広島市エキノコックス症予防対策委員会設置規程				
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	エキノコックス症(エキノコックスという寄生虫により引き起こされる病気で、主に肝臓に障害を及ぼし、放っておくとだんだん悪化して命にかかわることもあります。)の予防と感染者の早期発見と早期治療を行うことを目的に検診を開始した。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	健康と医療	(第1節)
	施策	保健予防の推進	(第2施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	小学校3年生以上の市民	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	北広島市におけるエキノコックス症の予防と患者の早期発見・早期治療のため検診を実施する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	各地区会館(5カ所)で4月集団検診(血液検査)を実施 中央会館・大曲会館・北広島団地住民センター・農民研修センター・西の里会館
		17年度	各地区会館(4カ所)で4月集団検診(血液検査)を実施 農民研修センターは中止

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	357	285	392	392
	合計	357	285	392	392
人件費(概算)	人数(年間)	0.03	0.03	0.03	0.03
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	270	270	270	270
総事業費 +		627	555	662	662

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(見込)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	検診対象者数(5年に1回)	10,848人	11,120人	11,250人	11,380人
	受診者数	201人	104人	300人	300人
	擬陽性発見者数	0人	1人	0人	0人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	受診率	1.85%	0.94%	2.67%	2.64%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	受診者1人当たり経費	2,078円/人	5,337円/人	2,207円/人	2,207円/人

整理番号 23-1

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	北海道全域がエキノコックス症地域に指定されており、検診事業を継続することが必要である。全道の市町村で実施要領に基づき実施している。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	エキノコックス症は北海道特有の感染症のため、自治体が中心となり地域住民の健康保持のため検診及び衛生啓発の普及を行うことが必要である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	エキノコックス症の予防と患者の早期発見・早期治療を要することから、市民の健康保持のため検診を実施する。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	検診については血液検査機関に委託しており、手段は適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	検診が5年間に1回程度が必要であり、受診件数も限られており、現在受診者の負担を考えていない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	自分の健康状況をチェックし、身体の異常を早期に発見することに成果は上がっているが、受診者数が少ない状況にある。エキノコックス症について市民に広く周知することが必要である。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率的 かなり非効率的	各地区での集団検診を実施しており、受診者の利便性を図っている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	エキノコックス症の重要性から住民への啓発等を十分に行い検診を継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市民への周知を徹底し、受診率の向上を図ること。